

日本では高品質な医薬品や医療機器が多く流通しており、また手厚い医療従事者のホスピタリティー等により、国民は不自由なく医療サービスを受けることができます。しかし、世界を見渡すと十分な医療環境が整っていない国が存在することは、皆さんもご存じのことかと思えます。経済産業省では「アウトバウンドに関する取組 医療国際展開カントリーレポート」¹⁾として、アジア・アフリカ・中南米地域の主要国におけるヘルスケア環境に関する調査報告書を公表しています。例えば、図 1 のように 5 歳以下の乳幼児が死亡する割合を国別に比較されており、開発途上国・新興国では多くの子供の命を救えていない実態が見えてきます。

これは、単に医療環境が不十分なだけでなく保険制度や経済的な事情も影響しており、WHO は Universal Health Coverage(以下、UHC とする)の実現を目標に掲げています²⁾。UHC とは、「すべての人が基礎的な保健医療サービスを、必要な時に、負担可能な費用で受けられること」です。この目標は SDGs のターゲットの一つでもあり、「必要不可欠な保健サービスによってカバーされる対象人口の割合」と「家計の支出または所得に占める健康関連支出が大きい人口の割合」が年次でモニタリングされています³⁾。

今回は、UHC の実現に向けて世界各国で行われている様々な活動を 2 回に分けて取り上げたいと思います。今月は日本および海外で策定された「グローバルヘルス戦略」について紹介します。

健康水準および医療水準(2/6)

5歳以下の乳幼児死亡率 1,000人当たり(2019年)

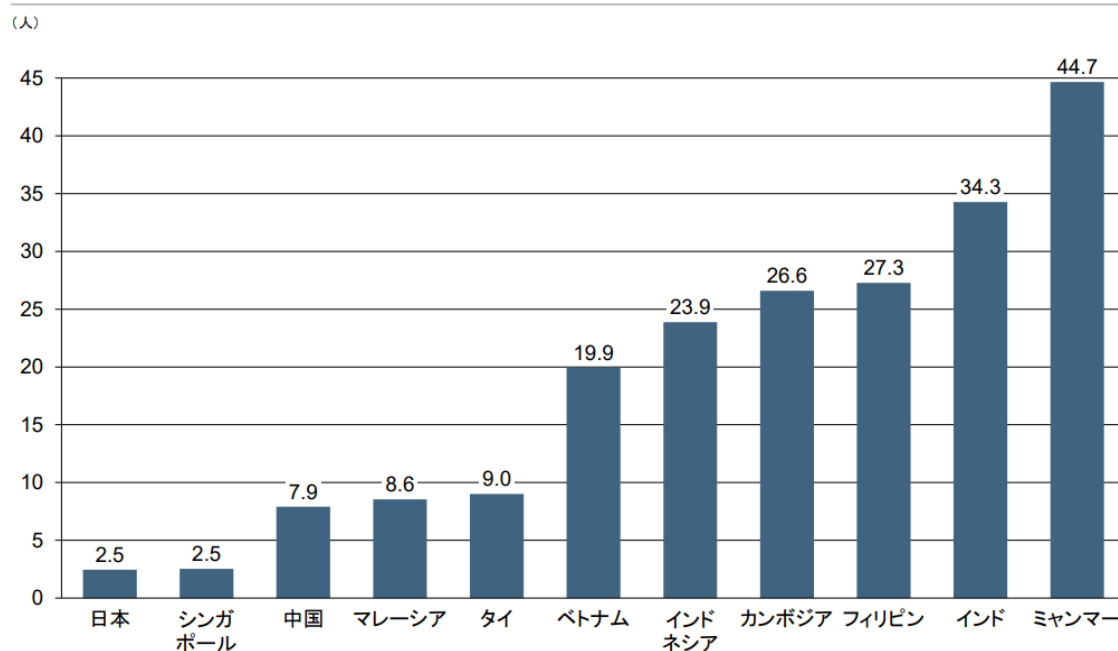


図 1 5 歳以下の乳幼児死亡率 1,000 人当たり(2019 年)

[出所]経済産業省, アウトバウンドに関する取組 医療国際展開カントリーレポート¹⁾

独立行政法人国際協力機構(JICA)によると、UHC を実現するためには図 2 に示す 3 つの課題があるようです。先に紹介したように、医療機器や医師の不足といった「物理的アクセス」や、保健医療サービスを受けるだけのお金がないといった「経済的アクセス」という課題に加え、言葉の問題で病気や治療の説明を理解できないことや、そもそも保健医療サービスの重要性を知らない方もいるため「社会慣習的アクセス」といった心理面の課題も解決しなければなりません。そして、グローバルヘルスとは、社会的、経済的、文化的、環境的要因を考慮し、世界中のすべての人々の健康を目指した研究・調査・実践の領域とされており、国境を超えて健康・医療の格差の解決を促進しようとするものです⁴⁾。

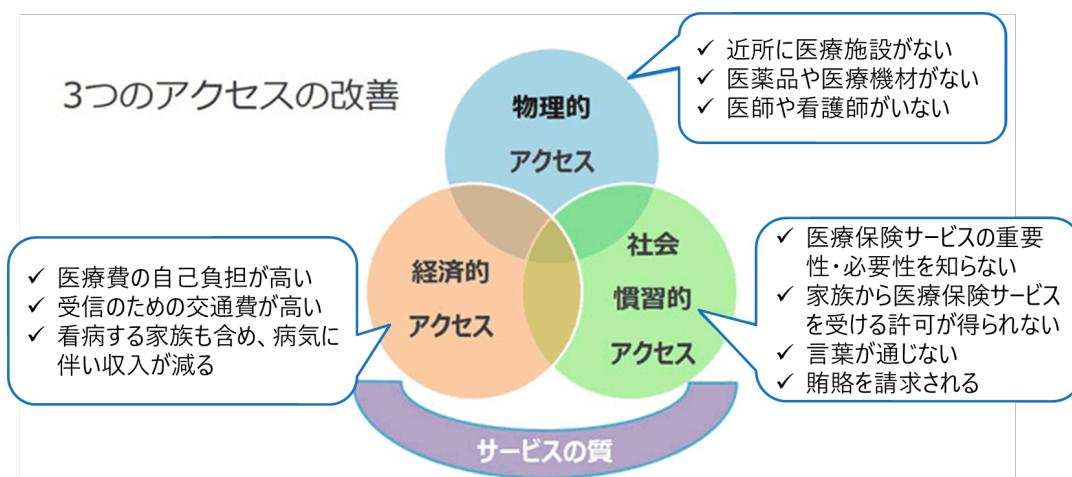


図2 UHCを実現するための課題
 [出所] 独立行政法人国際協力機構(JICA)ホームページを基に筆者作成⁵⁾

このように開発途上国・新興国の医療環境は、医療の質を高めるだけでなく生活の質を支えるライフラインの整備や、健康・医療に対する理解を深めるような指導も必要であり、様々な産業が連携する横断的な取り組みが重要となります。そこで、日本政府は健康・医療戦略において、UHC実現への貢献を視野にアジア・アフリカ健康構想(図3参照)のもと ODA^{*}を含む様々な活動を推進するための「健康・医療戦略」を策定しています。さらに、世界各国や国際機関との調和も図り、地球規模の課題を効果的に解決するため、「グローバルヘルス戦略」が健康・医療戦略推進本部で決定されました⁶⁾。

^{*}ODA : Official Development Assistance(政府開発援助)⁷⁾



図3 アジア・アフリカ健康構想
 [出所]健康・医療戦略推進本部(第39回)議事次第, 資料1-1⁸⁾

健康・医療戦略推進本部における各種戦略や関係会議の経緯を図4のようにまとめました⁹⁾。「グローバルヘルス戦略」は2022年5月24日に決定されましたが、すでに2020年から「第2期健康・医療戦略」でアジア・アフリカ健康構想を踏まえた戦略が策定されていました。ちなみに、医機連通信第300号のMDPROミニコラムで紹介した「第2期医療機器基本計画」は、「第2期健康・医療戦略」と「第2期医療分野研究開発推進計画」との整合性を踏まえて立案されています¹⁰⁾。医療機器産業に携わる皆様は、成長戦略の柱として策定された「健康・医療戦略」の方が聞き慣れておられるかもしれません。

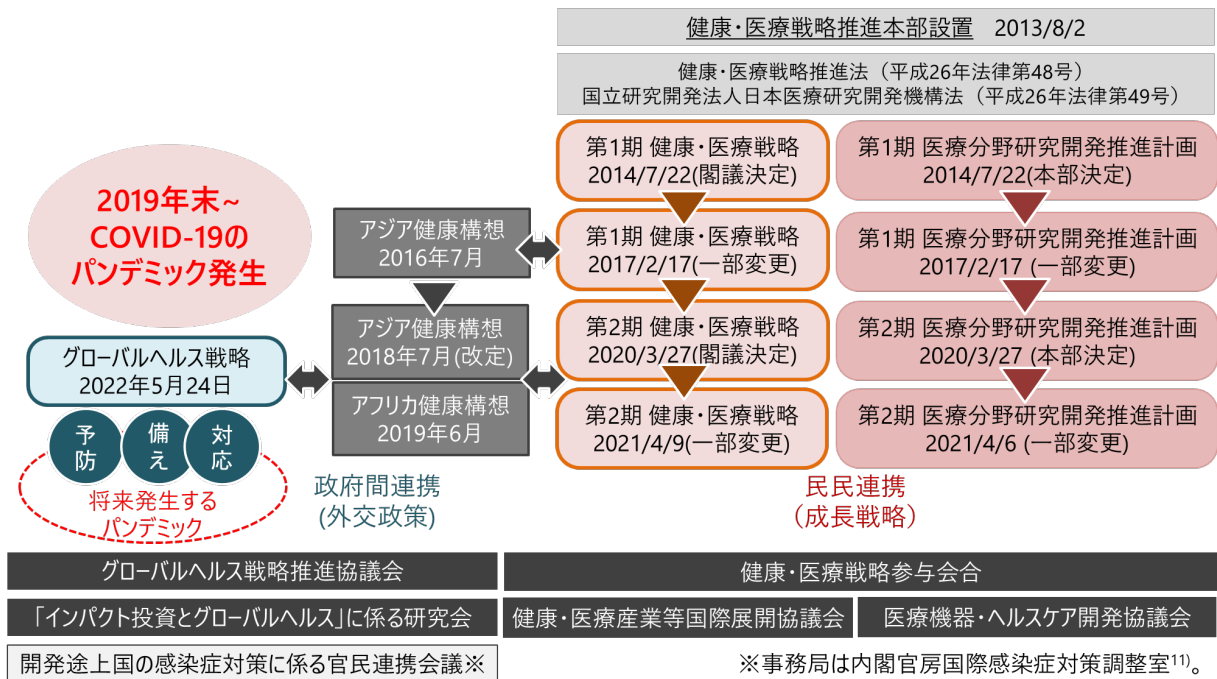


図4 健康・医療戦略推進本部における各種戦略や関係会議の経緯

[出所]健康・医療戦略推進本部ホームページ⁹⁾および「第2期健康・医療戦略」を基に筆者作成

ここで、「グローバルヘルス戦略」は、「健康・医療戦略」に対して何が異なるのか気になりますが、「グローバルヘルス戦略」を立案したタスクフォースの資料では図5を使って説明していました。

「健康・医療戦略」は、産業振興が主体であり2国間の協力覚書(MOC)をベースにした新興国支援のようです。協力覚書(MOC)とは、両国間同士における意思の合意を示すものであり、相手国の行政として強く望んでいる支援(ニーズ)が記されており、これまでに取り交わした各国とのMOCを出典にまとめました¹²⁾。各国では何が困っているのかを知るきっかけとして、是非一度ご覧ください。

一方、「グローバルヘルス戦略」は、政府や国際機関等が主導するプロジェクトとの連携を図るものであり、マルチ(多国間連携)の観点で取り組む活動です。「グローバルヘルス戦略」の政策目標は大きく2つ定められています。一つ目は、健康安全保障に資するグローバルヘルス・アーキテクチャーの構築への貢献、そしてPPR(予防・備え・対応)の強化です。二つ目は、ポスト・コロナの新時代に求められる、より強靱(resilient)、より公平(equitable)、かつより持続可能(sustainable)なUHCの実現です。

「グローバルヘルス戦略」

※保健ODA等を
課題に応じて戦略的・効果的に組み込む

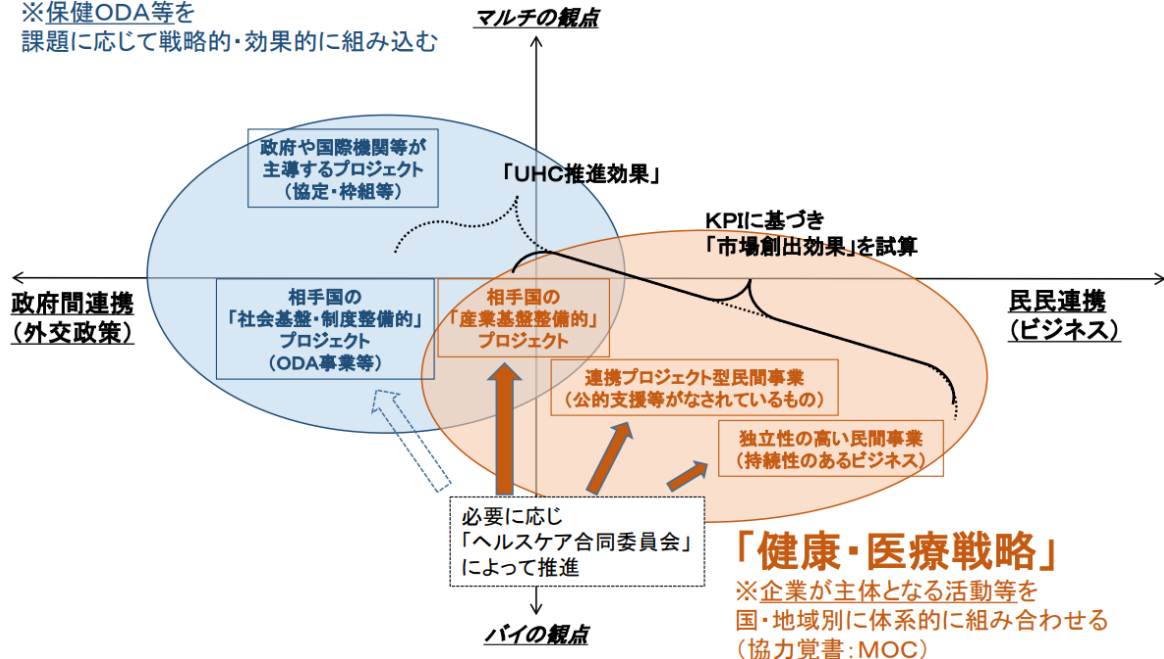


図5 「健康・医療戦略」と「グローバル戦略」の関係について

[出所] 第1回 グローバルヘルス戦略推進協議会, 資料4⁶⁾

これまで日本はグローバルヘルスにおいて多くの貢献をしてきました。「グローバルヘルス戦略」の別添には九州・沖縄サミットや主要な国際会議で政府が発信した実績がまとめられています。そして、今後も世界のグローバルヘルスを先導するためには、2023年5月のG7において、議長国である日本が新たな表明をすることが重要になると思います。現在、G7でグローバルヘルスの新たな指針の表明をすることに向けて、「インパクト投資とグローバルヘルスに係る研究会」で議論が進んでいます¹³⁾。この研究会では、グローバルヘルス分野への投資に取り組む企業を後押しするために、インパクト投資の適切な測定・可視化に適した方法と、それを実現するための支援策を目標成果物としています。日本のグローバルヘルスに対する姿勢は各国が注目しており、これらの活動と各国の反応等、今後の動向に注目です。

UHCの実現に向けて他の先進国でも戦略を策定しており、また様々な産業が開発途上国・新興国への支援活動を行っています。健康・医療戦略推進本部による、「主要国及び主要ステークホルダーによるグローバルヘルスへの取り組みに係る調査分析 調査報告書」によると主要4か国では表1のような戦略を策定しているようです¹⁴⁾。

世界的なパンデミックの経験を受け、どの国も健康安全保障や保健システムの強化に関する施策を立てております。一方、各国で異なる点もあり、例えば米国では“性と生殖に関する健康と権利の促進”や“栄養に関するリーダーシップ”等が掲げられています。また、ドイツでは“環境・気候変動・公衆衛生に対する総合的なアプローチ”として、保健セクターが他の産業界を先導して二酸化炭素排出量をネットゼロ(carbon neutral)にする必要性を提言しています。開発途上国・新興国への支援ではなく、まさにグローバルヘルスという名のとおり地球規模から世界中の人々の健康を考える取り組みだと思えます。

表 1 主要 4 か国におけるグローバルヘルス戦略

国	健康安全保障関連の重点分野	その他の重点分野
アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> ● COVID-19 対応の先導 ● 健康安全保障とパンデミックへの備え ● 保健システム強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● WHO の支援と強化 ● 性と生殖に関する健康と権利の促進 ● HIV/AIDS・マラリア・結核に対する取り組みの牽引 ● 母子保健への取り組み ● 栄養に関するリーダーシップ
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> ● 国境を超えた脅威への対処 ● 保健システムの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境・気候変動・公衆衛生に対する総合的なアプローチ ● 健康の促進・疾病の予防・適切な対応 ● 研究・イノベーションの推進
フランス	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康安全保障の強化 ● 保健システムの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全ての人々の健康増進 ● 研究・イノベーションの推進
イギリス	<ul style="list-style-type: none"> ● ワクチン・診断・治療へのアクセスを通じた COVID-19 パンデミックの管理 ● 国際的な健康安全保障の強化 ● 国際的な健康安全保障アーキテクチャーの再構築 ● 保健システム強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 科学技術の発展の牽引

[出所]健康・医療戦略推進本部,「主要国及び主要ステークホルダーによるグローバルヘルスへの取り組みに係る調査分析 調査報告書」¹⁴⁾を基に筆者作成

今回は、UHC の実現に向けての取り組みであるグローバルヘルス戦略を中心に紹介しました。次回の MDPRO ミニコラムでは、医療機器産業の取り組みについて紹介する予定です。

◇出典(URL は 2022 年 11 月 7 日時点)

1)経済産業省,「アウトバウンドに関する取組 医療国際展開カントリーレポート」,
<https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/iryou/outbound/activity/country_report.html>

2)World Health Organization, 「Universal Health Coverage」,
<https://www.who.int/health-topics/universal-health-coverage#tab=tab_1>

3)国際連合広報センター,「すべての人に健康と福祉を」,
<https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/sustainable_development_goals/health/>


外務省,JAPAN SDGs Action Platform, SDGグローバル指標,
<<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/statistics/goal3.html>>

4) Koplan JP, Bond TC, et al., “Towards a common definition of global health.” ,
Lancet. 2009;373:1993–5., <<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/19493564/>>
Robert Beaglehole and Ruth Bonita, “What is global health?”,
Global Health Action. 2010;3:1(5142),
<<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC2852240/>>

◇出典(続き)

- 5)独立行政法人国際協力機構(JICA),「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ」,
<<https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/UHC.html>>
- 6)首相官邸,健康・医療戦略推進本部,「グローバルヘルス戦略」,
<<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/senryaku/index.html>>
グローバルヘルス戦略協議会並びにグローバルヘルス戦略有識者タスクフォース,
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/global_health/kaisai.html>
- 7)外務省,ODA(政府開発援助),
<<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/oda/oda.html>>
- 8)首相官邸,健康・医療戦略推進本部,健康・医療戦略推進本部(第三十九回)議事次第,
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/suisin/suisin_dai39/gijisidai.html>
首相官邸,第6回 開発途上国の感染症対策に係る官民連携会議
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokusai_kansen/kansen_kaigi/dai6/index.html>
- 9)首相官邸,健康・医療戦略推進本部,
<<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/suisin/kaisai.html>>
首相官邸,健康・医療戦略/医療分野研究開発推進計画,
<<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/senryaku/index.html>>
- 10)一般社団法人 日本医療機器産業連合会,医機連通信第300号,MDPROミニコラム,
<https://www.ifmda.gr.jp/mdpro_childcat/report2/>
- 11)首相官邸,国際的に脅威となる感染症対策関係閣僚会議,開発途上国の感染症対策に係る官民
連携会議,
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokusai_kansen/index.html>
- 12)首相官邸,健康・医療戦略推進本部,各国MOC,
インド <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/pdf/h301029_india_hc.pdf>
フィリピン <<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/pdf/philippines.pdf>>
インドネシア <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/siryoku/pdf/r021019_Indonesia_kyouryoku.pdf>
ラオス <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/siryoku/pdf/r021130_Laos_kyouryoku.pdf>
ベトナム <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/pdf/20190701_vietnam_hc.pdf>
タイ <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/siryoku/pdf/r030811_thai_healthcare.pdf>
ウガンダ <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/pdf/20190814_uganda_hc.pdf>
セネガル <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/pdf/20190816_senegal_hc.pdf>
タンザニア <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/pdf/20190816_tanzania_hc.pdf>
ガーナ <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/pdf/20190820_ghana_hc.pdf>
ザンビア <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/pdf/20190826_zambia_hc.pdf>
ケニア <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/siryoku/pdf/r031207_kenya_kyouryoku.pdf>
- 13)首相官邸,健康・医療戦略推進本部,「インパクト投資とグローバルヘルス」に係る研究会,
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/global_health/kaisai.html>
- 14)首相官邸,健康・医療戦略推進本部,「主要国及び主要ステークホルダーによる グローバルヘル
スへの取り組みに係る調査分析 調査報告書」,
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryoku/siryoku/pdf/r04_tyosahoukoku.pdf>

(医療機器政策調査研究所 平井 祐治 記)

医療機器政策調査研究所からのお知らせ  @JFMDA MDPRO
Twitterで医療機器産業に関連するニュースを配信中。医機連トップページからフォローできます。